

## アラメの採苗、育成マニュアル

- 1 母藻の確保  
母藻採集時期 10月上旬～12月上旬（盛期11上、中旬）の旧暦で12日又は27日前後（大潮の前）。  
母藻の選択 表面にコケムシなどの付着物がなく、葉数が多く（3、4年輪のもの）、子嚢斑（葉表面が黄土色）を形成した成熟個体を選ぶ。
- 2 蓄養  
当日、採苗を行わない場合のみ流水で水槽に收容するが、基本的にはやらない。
- 3 採苗と育成管理
- (1) 葉体の洗浄  
きれいな海水を用い、スポンジで葉の表面を洗う（表面のぬめりをとる）。
- (2) 陰干し  
直射日光の当たらない日陰で、1～4時間風干。  
（吊すのがよい。風干で葉の表面の水が切れればOK）
- (3) 採苗水槽と採苗器の準備  
採苗する水槽（何でも可）を用意し、付着珪藻類、プランクトンを出来るだけ取り除く。  
採苗器（基盤）を水洗し、水槽内に入れる（表面は光が当たる状態）。
- (4) 採苗  
陰干しした母藻を採苗水槽へ入れる。投入時間は2時間以内で、採苗がほぼ終わる。  
通気・・・母藻投入から常時、弱通気とする。  
遊走子は浸漬後10分後から葉表面の孢子嚢から放出される。遊走子は2時間程度の遊泳力しかなく、すぐ基盤に付着する。（遊走子付着確認のため、テグスや透明フィルムなどを水槽内へ吊しておく。）  
2～3時間（5時間でも可）後に、母藻を取り除く。
- (5) 配偶体管理  
採苗後2～3日まで 止水で管理。  
通気を行い、水温は常温で良い。  
採苗後2～3日から 流水で管理  
通気を行い、水温は常温で良い。  
約1ヶ月で、配偶体が成熟し、受精後幼体が発芽する。
- (6) 幼体管理  
流水飼育 水交換率は2～5回／日（流水は多いほど良い）。  
通気を行い、水温は常温で良い。  
栄養塩は適宜、硝酸Na、リン酸Naを与える。  
採光は、室内の管理の場合、蛍光灯で光を補充し、表面で2～3klxを確保する。  
3ヶ月後には、目視で幼体が確認できる。  
6ヶ月後には、全長5～10cmに成長する。
- (7) 移植  
移植場に基盤ごと設置する。